京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲郵税一ヶ月十五錢　一圓八十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料　▲五號活字十七字詰一行金十五錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久辨一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六六三番振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

●本日六頁

史譚



臨終の奈破翁

山水道人

第四回

あゝ思出多きセント、ヘレナの名よ。殊に嶮惡にして冷酷、隣人の死も笑つて送る可きハドソン、ローは、島司として孤島に來るや、官權の威を笠に着て益ます我意を振舞ひぬ。

かくて彼は、ナポレオンが過去の榮誉と盛運とを忍ぶの餘、其凋落を目前に見て、卑しき勝利の快を感じ、偏も衰殘のナポレオンを、その意の儘に苦しむる事の、如何に殘忍なる彼が性情の滿足をや買ひ得たりけむ、あらゆる方法と手段とをもて、只管皇帝を苦しめむとは試みぬ。

彼は先づその迫害の第一歩として、ナポレオンを罵詈せる小冊子を贈りて嘲弄の意を仄かしぬ、而して皇帝を侍つに普通人の禮を以てし、故意にボナパルド將軍とは呼びけり。

ハドソン、ローは、その南阿へ赴くの途次會々孤島に寄港したる一貴婦人の爲め、旅情を慰せむとて晩餐の宴を張りぬ、されど孤島の風物もと索寞、賓客の意を迎ふ可き何物も無きを憾みとせし島司のローは、その暴戻なる胸算より、貴婦人の虚誇心を滿し得べき一事を思ひ付きぬ、そは即ち敗殘のナポレオンを席上に乎びて、座興を添へむの冷酷なる心事なりき。

かくて彼は皇帝に對つて一書を送りぬ、是を受けたる帝の一從者、その表書に單に「ボナパルド將軍」と記せるを見るや、赫怒して島司の無禮を責め、その使者を逐ひ返へしぬ、あゝ、されど此の正義の刑罰は帝に不利なりき、そは恰も蛇尾を踏むの禍ひにて、災厄は累ねて帝に降れり。

果然！執拗なる島司は、帝を怒りて一計を案じぬ。

爾後島民の皇帝に信書を送らむものは、悉く島司の檢閲を受く可く、併せて又其の宛名に皇帝と記すものは、皆是を沒收すとの嚴達、孤島の内に響き渡りぬ。

かくて皇帝の苦痛は漸く增し來れり、嶮惡なるハドソンは、殘忍なる自性に顧みて、かゝる精神的迫害は未だ以て輕きに過ぎ、皇帝を苦しむ可く充分の滿足に價せずとてや、更に彼は手段を進めて、肉體的苦痛を以て皇帝を迫害しぬ。

即ちナポレオンの生活は、茲に苛酷なる制限を附せられ、食卓に侍する者は四人を超ゆ可らず、酒は一人僅かに一本と限られて、卓上の美味漸く稀れに、果は粗餐辛ふじて饑を凌ぐに足るのみ。

是より先、皇帝は日日沐浴するの慣例ありしも、島司は是をしも一週一度に制限して、事々に皇帝を虐げぬ。

かゝればナポレオンの生活は甚だしく拘束され、その自由は殆んど擧げて奪ひ去られき、斯迄極度に其精神と肉體とに、深酷なる侮辱と慘酷なる迫害とを逞ふしつゝ、かくても猶ほ慊らでや。

あゝ何事ぞ!!

彼皇帝が朝に暮に、是を眺めては僅かにその眼を樂ましめし、庭苑の綠樹は故意に伐られぬ。

事茲に至る、流石にナポレオンも震怒せざるを得ざりき、その皇帝のグライドを以て、その昔日の權威を以て、島司の亡狀と無禮とを追窮しぬ、さるにてはまた何事ぞ!!

それよりは、日々の食卓に死獸の肉の置かれしとは!!

外事一束

▲歐州　列國間に紛議を惹起す可しと觀測されし摩洛哥問題の形勢は案外。
▲平穩　に終るらしく獨逸政府が摩國に砲艦を派遣せしに就き英佛西三國。
▲新聞　は獨逸の態度を是認し唯佛國のみ恐慌の色あり結局兩國間に於て。
▲交涉　開始せられんか然れども是れ亦穩かに解決すべく觀察せられつゝ有。
▲如上　の有樣なるを以て歐州各地取引所株式相場も幾分下落を示せりと。
▲北京　駐屯軍撤退に關する淸國の内提議に付列國公使は之を一笑に附す。
▲淸國　にて阿片吸煙禁示勵行の目的にて新彊附近栽植の罌粟を拔棄しに。
▲土民　の反抗を招ぎ其勢ひ猖獗にして目下淸政府は官兵派遣中なりと云。
▲支那　粤漢鐵道技師長として英人コリンソン氏招聘年俸二千磅手當同額。
▲英國　議會の大問題倫敦宣言に關する討議は四日間の長きに亘り行はれ。
▲保守　黨側の反對盛なりしに不拘下院に於て二百三十一票對三百一票の。
▲多數　を以て可決せられ保守黨首領より宣言批准を返さんとの勸告あり。
▲外相　之を峻拒して曰く該宣言は中立國として英國の地位を良好にし又。
▲交戰　國として從來に比し何等の不利益を生ずるものにあらずと言明す。
▲獨逸　が摩國に軍艦派遣せし異意は摩國に利害關係を有せる列國と意見。
▲交換　をなし協約を明ならしむるは以て平和を期待し得べしと爲すに在。
▲米國　は未だ曾て經驗せざりし酷暑に遭ひ全國を通じ百餘の死者を出す。

微笑



妙子の兄

何うかと思つて下した朝顏も美事に芽を折き蔓をはつて蕾をもつけた、イヤ中には既に破蕾したのもある、全く美事に、瑠璃もある絞もあつた、が白いのは未だ咲かない、今朝こそは今朝こそはと思つて起き出で〻見るが白いのは影も無かつた。

思ひ〳〵の色をもつ、と云ふ朝顏、其の思ひ〳〵の色も自然の運命だ、其の自然の運命に安んじて居る自然界の生物夫れが幸福であらうか又は其の運命に抗すべく勉める人類が幸福なのか不明らぬが兎に角我が朝顏の白は咲かない、咲くべきを任運に待つより外は無からうか、开は先づ夫れとして措いて僕が朝顏の花の色の白きの咲くを何故に其樣に待つかと云ふと他でもない、只つた一人の我が妹が待ち佗びて居るのを見るに堪らぬからである。

愛しの妹、今年十四になる、名の妙子と云ふに恥かしからぬ美妙の心意氣を持つて居る、夫れが何う云ふものか白と云ふ色が非常に好きで何んでも彼でも白でなくては承知しない。他の事には極めて柔順だが夫れには又極めて執拗で白でなくては納まらぬ。

昨夕、見廻つた際不圖葉隱れに白の蕾の今朝咲くべきを二つ三つ迄見出した彼れに知らせたら如何に喜ぶべきかと其の樂を心に味ふて寢に就いた。

今朝三時半眼が覺た、妹を起して喜ばして遣らうと寢床を探ると空蟬の藻脱殼、オヤツ!?と急いで雨戸を繰る、ト其の庭前に白地の寢衣した妙子が眞白き腕に眞白き花の咲きたる鉢を捧げたるが戸を繰る音に振り返り樣更に高く夫れを捧げて言葉もなく『ニツ』と笑ひ未だ明け放れぬ薄暗き庭の面に穢れなき女乙の花に對する自然の微笑。

神經衰弱の豫防（八）

（四）慰安　慰安にも人爲の慰安と天然の慰安との二種類であるか、何れにして神經衰弱症の爲めには有力な豫防法である、人爲の慰安は第一が嗜好に依る慰安で良性のものと、惡性のものとの二種がある、良性のものでも餘り熱中過ぎると弊害がある、音樂、寫眞、美術、茶の湯、生花、園藝、旅行、相撲、能、舞、釣などは良性に屬し、碁、將棋、酒、煙草等は惡性に屬すと云へる勿論人次第、場所次第で良性のものが惡性となり、惡性のものが良性となる事もある、一概に良性、惡性と區別する事は出來ない、最も高尚な音樂であつても過度にすれば呼吸器病に罹り易い茶湯、生花なども運動不足に陷り易いと云ふ事になり、碁將棋でも一席二席ならば轉氣の一方法で、上等の日本酒五勺位なら飲んでも左程の害はないとも云はれて居る、それから信仰上の慰安である、例へば催眠術の治療を受ける人が術者を信せなければ感應はない、又は中毒治療で、モルヒネとかコカインとかの麻醉劑を毎日注射して居ると、注射時間には早く注射をしなければ居られない習慣になる、さう度々注射する事は出來ないから醫師は時として水を注射して遣るけれども、患者が醫師を信じて居ると水がモルヒネやコカインと同一の効を奏するものである、信仰が神經に大なる關係のあることは此の二つの例でも知れるが、それが宗教上の信仰になるとより以上の慰安が得られる。

●小說　三面にあり

文苑

◎曙の歌

雨村野人

世は今闇の
鈍色の
衣ころろと
脱ぎかへて
ねとろぎさまの
寐さめ顔
ぬくたれ髪の
あからめは
痛肩伸して
さぬさゐに
音なくねぶる
街中を
歩みぬ―行きぬ―
たよ〳〵と
てだれの鏡の
音もたゆく。
あゝあらたよの
あけぼのに
黑き黑袍衣
たぐられて
朝露深の
中たとる
姫がすがたの
れぼろけさ

東京たより

◎西の方は大水の由と冷淡に語り居れる中に、兩足は早く猛く東都をも襲ひ更に北海をも襲ひて全國悉くこれが災害を蒙むるに至れり、近來官僚政府の苛税誅求極まる所を知らざる折柄、頻りに天災の臻りて民の資力を奪ひ去るを見る、知らず天公果して何の意を以て斯の如く我民に酷なるかを。

◎吾人は天災の至る毎に民の窮乏を思ひ、市場の不况を慮り、租税を輕減せざる可からざるを切實に感ず、彼の近來至る處に國税滯納の説を聞は、其罪半ば民にあらんも、半ば苛税誅求より來る因果應報と見るを適切とすべし、我等同志は如何にもして租税を輕減し民の負擔を輕からしむる事を主張せざる可からず。

◎濟生會の醵金は豫想の如く容易ならず、時今の形勢よりすれば先づ高々千五百萬圓に止まらむと想像せらる。畏くも内帑の資を賜ひて濟生の優詔あり、苟くも天下の資産家は奮つて之に寄附し、聖旨に報ひ奉る可きを、自ら進んで之を爲さざるのみならず、强請せらるゝも尚ほ且つ頑として應せざるものありと噂さるゝが如きは、與に奇怪千萬と謂はざる可らず、然れども靜かに斯る不都合なる現狀を見る所以のものを考ふるに、桂太郎公に誠意なきことが重大なる一因なるを否む能はざるなり、公が濟生會なるものに何等かの私心あるが如き噂さるゝ爲なるを否む可からず、吾人は今其私心の有無を論ずるの要なし、噂のみにても斯る噂を出さるゝ桂太郎公の一派が濟生會の局に當るを辭退せんことを望む。

◎尤も、桂公が誠意なきに因つて、世務を過りしものは單り濟生會のみにあらず、彼の維新史も編纂の如きも、公は始めより誠意なく、單に長派元老の甘心を買はむが爲めに目論見たるものにして、其委員の如き全く長派のみより擧げたる結果、近頃に至り東北七藩を始め幾多の舊藩士は史料提供拒絶の決議をなせりと傳へらるゝを見る也、吾人は現内閣の交迭速かならずんば、到底世務を揚げ得ざる可しと云ふを憚らざる也。

京城新報

府尹會議に寄す
民團存廢問題に就て
吾人の意見の前提

府尹會議は明十日より開かる可しと。例により寺内總督の訓示あり、又種々の諮問案も提出せられむ、實際地方の充實を期し之れが成績を擧げ、半島統治を進めんと欲するには、府尹及び郡守に待たざる可からず。故を以て府尹及び郡守の任務は或は中央部に在る長官よりも重し、小學教員が大學の教授と分業上の價値を異にせるが如く、府尹及び郡守の天職は官の高下に依て區別せらるゝこと無き也。況んや府尹は日鮮人密集區域の直接行政者として郡守よりも更に一層難局に當りをるに於てをや。國家組織の源流とも云ふべき下級團體即ち面洞里等の發達と福利を期圖し、各々其所を得せしむるもの一に繫つて府尹及び郡守の手腕如何にあり、一旦府尹郡守にして措置宜きを誤まらんか、地方行政の根本終に茲に死解せむ。近來我政府に於て地方行政當局者の人選に注意し、可及的行政智識の發達せる少壯者を以て老朽郡長に代ゑむとするの方針を執るに至りしも畢竟直接人民に接觸せる爲政者の任重きを覺りし結果なり。殊に府尹の如き新附民の進運を奮し一方には内地人の發展を資け、相互扞格する所なきを任務とするものにありては、之を母國の郡長に比し其責重且つ大なるを思はずんばあらず、府尹諸氏豈大に奮勉する所なくして可ならむや。

今回の府尹會議に諮問事項中、最も重要なる案件は、内地人民團存廢問題なりとは、世人の齊しく唱ふる所にして寧ろ之れが主題となりて招集せられしものなりと揣摩する者さへあり、想ふに是れ眞相を傳ふるものならむか。於是乎、吾人は本會議に對して多大の注意を拂はんとすると共に、一の注文を發し置かむ、注文とは他なし、若し民團存廢問題が諮問案として提出されむか、府尹諸氏は、民團の成立原因は如何。民團發達の歷史は何を語りつゝある乎。民團經營に就て多年の間内地人が嘗めたる辛苦を顧みず、直ちに之を鮮人と混治せんとするは、果して日鮮人雙方に不利益ならざるや如何。内地人をして倍々鮮土に發展せしめむと欲せば幷が權能を尊重するの必要無きや如何。假に民團を廢すとして民團財產は如何に之を處分せむとする乎等。此他内地人の利害を精査し討究し、以て後日非難を蒙むる事無きを期せむこと是也。凡て非立憲政、專制政治を以て立つ國の諸制度は、民團自身の進步にあらずして、官界少數者の見地より打算せられたるものなり、從つて民情に副ふと副はざるとに頓着なく、僅かに誘導推進して理想に到達せしむるを以て足れりとす、政治觀念の稀薄なる民を統ふるには、此非立憲的の爲政方針を學ぶも敢て不可なきも、我内地人は之と同一に律す可からざる也。府尹諸氏能く此理を辨へ愼重を缺くなきを望む。

東京電報（八日發）

▲日比谷市民大會　東京市電車市有問題反對の聲昨日來囂然として起り今八日は日比谷公園に市民大會を開催すべく商園の狀況稍や不穩なれば警視廳の警戒最も嚴重を極むれど多少の紛擾は免れざるべし

▲海軍檢閲使伏奏　伊東海軍特命檢閲使は昨日參内御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付られ横須賀舞鶴兩鎭守府大湊要港部第一艦隊を特命檢閲したる風紀衛生教育其他委曲伏奏に及びたるに陛下には種々優渥なる御諚を賜はりたり

▲京都大學御成　來る十三日京都帝國大學卒業證書授與式擧行に付賢き邊りより竹田宮恒久王殿下御差遣の御沙汰ありたり

▲御名代御差遣　江田島海軍兵學校卒業證書授與式に御名代として北白川宮成久王殿下御差遣殿下は十六日午後三時四十分新橋發列車にて同地に向はせらるゝ事に御治定相成たり

▲遣英艦消息　遣英艦隊鞍馬、利根の兩艦は六日パーロウに向けデーボンポート發の旨海軍省に公電ありたり

▲富豪と濟生會寄附　七日濟生會第六回富豪會を開き寄附金勸誘の結果二十一萬圓申込ありたり

▲寄附金の取扱方法　濟生會に對する各地よりの寄附金は振替貯金にて取扱ふ

雜報

●學制案の審議　先般來の地方官會議席上に於て寺内總督は朝鮮學制案に關し目下審議中なりとの旨を訓示したるが右は目下參事官の許に於て立案中に係り近日脫稿すべく本案の決定を見るに至らば始めて朝鮮敎育の根本を確立する譯なりと云ふ

●普通學校增設と敎員　普通學校は從來百余校なりしも本年度に於て更に百余校を增設する事既報の如くなるが之れが經費は一校約二千圓にて其財源は郷校財產を主とし其他地方費及恩賜金利子を以て維持するとなり居れるも各學校には内地人敎員を一名づゝ配置する事に決し其敎員の俸給のみは總督府より補助する事となるべく敎員の人選は目下夫々銓衡中なるが主もに内地縣立師範學校卒業生より採用する筈なりと云ふ

●日本語の普及　別項記載の如く朝鮮兒童敎育のため普通學校は本年度に於て約二百餘校に達すべく之れが敎員には内地人一名づゝ配置さるゝ譯なるが從來日本語は一の語學として敎授せしが今后は日本語の普及を目的とするの方針を執ることゝなりしかば遠からず朝鮮兒童間に内地語を解せざるものなきに至るならんと云ふ

●總督の東上期　寺内總督は朝鮮の政務も地方長官會議及府尹會議等により近々一段落を告げ更に明年度の新企圖に對しても夫々成案を得たるを以て一先づ東上に決し多分本月廿日過ぎ當地出發の途に就くべしと云ふ

●總督と各長官　寺内總督は八日午前八時より總督府に各部長官各道長官各部局長を召集し山縣政務總監臨席の上總督より約三時間に亙りて各道長官の答申及意見等に付諮殷の政務に互り詳細指示する處あり午前十一時散會したり

●寺刹令施行規則　今日府令第八十四號を以て寺刹令施行規則公布され寺刹令と同時に來る九月一日より實施する事となりたるが本則は全文八箇條より成るものにして其の内容は特に總督に於て指定したる寺刹と然らざるものとを區別し總督の指定したる寺刹の住持就職に就ては總督に申請し認可を受け他は道長官の認可を受くる事とし其の他寺刹の動產不動產に異動を生じたる場合の屆出及住持の不正行爲により認可を取消されたるものは一週間以内に事務を引繼ぎ其の寺刹を退去せざる者は五十圓以下の罰金又は拘留に處する事等なり

●道路改修假工事と通牒　各道府郡に於て地方の運輸交通上急速開設を要する道路工事にして其の管理廳の施行を俟つ能はざるものに在ては改修假工事を施行することを得べき樣にて自今左記事項に準據し設計すべき樣八日山縣政務總監より各道長官に通牒を發したり

(一)路線の選定は愼重なるべく後日路線變更の必要なき樣計劃すべきこと

(二)道路の敷地は當該等級に適合する相當の道幅を得るに充分なる用地を取り置く事

(三)地形平坦なる部分の工事又は輕易なる工事の箇所に在りては可成道路築造標準に據り相當の有効路面幅に築設し置く事

(四)總て改修假工事は路面、排水溝其他に留意し經費の許す限り可成耐久の工法を採る可き事

●留學生に訓示　今回朝鮮總督府より官費留學生として採擇せられたるものは別項十七名にして去六日寺内總督は官邸に於て十五名の留學生を引見し一々姓名及留學學校名等を下問の後諸子能く健康に注意し品行を愼み學業を勵み以て他日の成業を期し官費留學生たるの面目を損はざることに注意し政府が留學生を撰んで内地に派遣するの精神を了解し自重自愛其責務を果すことに努むべし云々の訓諭を與へ同日關屋學務局長は右學生を總督府に集め諄々として總督府が留學生を派遣するの本旨之に對する學生の心得より内地留學中の注意等懇々訓示する所あり更に宇佐美内務部長官は去八日一同を總督府に引見し一々其志望を問ひたる后内地留學に關する覺悟を訓示し夫より學務局長は一同を官舍に集め留學生に出身學校長、學務、編輯課長、視學官等を招き茶話會を催し雜談の間種々有益なる注意を與へたり留學生一同は其款待に感激して退きり翌日は早朝總督府前に會合し紀念の撮影を爲したりと云ふ

●第一銀行上半期成績　竹山京城支店支配人談……第一銀行京城支店上半期純益金六萬六千餘圓にして之れを昨年の同期に比すれば約一割二分を減ず金銀出納高入金に於て三千四百餘萬圓出金に於て約三千四百餘萬圓を示せるが何れも昨年の同期に比すれば約一千餘萬圓の減額を見たり然れども金銀出納高の多寡を以て直に銀行成績の如何を云爲するは否な吾々當業者より見れば一の參考たるに過ぎざればなり以下當地金融界の一端を述べんに在留内地人側は依然として同等顯著なる變化を見ざるも朝鮮人側に至りては昨年春頃より内地人の移住に伴ふ各種生產物價の騰貴と山林田野の買上げ放資額約七八百萬圓及今恩賜公債の散布流通行はれたるを以て三月以來衣食の需用激增し爲めに母國よりの移入品を仰ぐ日に盛ひを極むる次第なるが殊に金巾類の如き其の賣行最も良好にして其他各種工事資金の需用も夥からざれば幾分金融に繁忙の徵候を呈したるも之れ一時の現象にして確固たるものにあらず尚ほ緩慢の大勢は依然たるの觀あり然れども本年度より各地に授產事業の開始あり港灣道路工事の着手等もあれば今後地方制度の發達に伴ひ其の成績の見るべきものあるは疑なしと雖も現今の處未だ以て言ふに足らずと云々

●官費留學生　別項朝鮮總督府より撰拔せられし鮮人の官費留學生及び留學學校名(出身學校名)氏名左の如し

東京帝國大學農科大學(官立漢城外國語學校國語部)鄭然基、官立水產講習所(官立漢城外國語學校國語部)姜齊吳、東京高等商業學校(官立漢城高等學校)金敎哲、千葉醫學專門學校(官立漢城高等學校)申弼休、東京帝國大學農科大學(官立水原農林學校)金洙梧、(同上)(農林學校)李容勳、長野縣上田蠶絲專門學校(農林學校)林潤龍、千葉縣立師範學校(千葉縣立師範學校本科三年生トシテ在學中)康秉鍵、蠶業講習所(仁川實業學校)金學仁、東京高等商業學校(仁川實業學校)外瑞燮、東京高等商業學校(善隣商業學校)尹韓炳、蠶業講習所(善隣商業學校)李駿基、千葉醫學專門學校(前大韓醫院附屬醫學校)金溶采、同(前大韓醫院附屬醫學校)金敦昌、東京高等工業學校(官立工業傳習所染織科)尹台鎭、愛知縣立陶器學校(官立工業傳習所陶器科)郭泰昌、東京高等工業學校(官立漢城日語學校)權求寅

●砂金採取地と土地荒廢　近來砂金地に於ける砂金採取者と土地所有者間に紛議を惹起することゝ珍らしからず是れ鑛山業者が鑛區採掘するに當り往々便宜上隣接を冒すことゝあると又一は現行鑛業法には試掘を許さゞるを以て鑛山探檢者は到る所勝手に試掘する者多きなり現に咸鏡南道に於ては砂金採取の爲に因りて荒廢したる地域三百二十三萬七千六百餘坪ありて將來益々荒廢地を增加する傾向あり寺内總督も此に見る所あり今回の道長官會議に於て砂金採取と土地の荒廢に關して懇々指示する所ありしと

●漢湖農銀總會　漢湖農工銀行にては來る十九日重役會議を開き總會に附議すべき各項を審議したる上二十三日廣通館に株主總會を開き本年度上半期の營業報告利益配當を行ひ最後に臨時總會を開き監査役の改撰及出張所設置農工債券發行の件等附議する筈

●今後の官舍工事　京城内に於ける各官舍は大概新築を終りたるも尚高等官は約三分の一不足を生じ判任官は官舍を有するもの約三分の一に過ぎざるを以て豫算の許す範圍に於て追々增築の計畫なるも倭城臺及大和町方面の官舍が一般に地積狹隘にして家屋余りに密接しつゝあるため適當の場所を撰み其建築物を移轉せしむるの必要あり目下南山方面及中部等内地人街に近き所には殆んど官有地なきを以て漸次北部等へ建築するの止むなきに至るべしと云ふ

●稅關監視署區域　府令第八十五號を以て稅關監視署の位置及其管轄區域發表されたるが監視署の所在地は碧潼渡、龍塘浦、麻山、舊馬山、長承浦、統營、三千浦、麗水、城山浦、浦項、雄基、慶興、新阿山、會寧、何日里浦、義州、鎭東浦、夢金浦等の各所なり

●官有地整理　京城府内に散在する官有財產は以前臨時財產整理局に於て調査したるものなるも右は朝鮮政府時代の記錄を根據としたるものなれば其の地積等に關し不完全を免れざるを以て今回總督府營繕課に於て舊來の臺帳を根據として官有建物及土地の所在を確め一々之れに總督府所管の表示をなし更に測量して地積を明らかにするの方針にて先般より着手したるが農商工部山林課に於ても又同樣の方針を執つて山林々野の官有地に屬するものゝ調査を開始し何れも約一箇月にて終了の豫定なりと云ふ

●道路擴張期成會　本町道路擴張期成會にては七日午後幹事會を商業會議所樓上に開き趣意書會則の修正を爲し幹事長及び當番幹事を互撰して左の諸氏を擧げたり　幹事長淵上貞助、當番幹事池田長兵衛、梶原末太郎、田村義次郎、釘本藤次郎、秋吉富太郎、進辰馬、森勝次

●下岡局長出發　滯京中なりし下岡農商務省農務局長は八日朝南大門驛發平壤に向いたるが同氏は今後豫定の如く新義州安東縣、南浦各地を視察し更に北京、上海の方面を視察の上大連より歸東すべしとの事なり

●本多博士の一行　滯京中なりし本多林學博士は東京より同行せし大學助手及學生及熊本大林區署の平熊林務官總督府山林課の渡邊技師其他一行十名にて七日當地出發南鮮地方の森林狀態視察に向ひたるが本月下旬一先づ歸京の上更に北鮮地方へ赴くべしと云ふ

●末廣博士來鮮　京都帝國大學敎授法學博士末廣重雄氏は今回朝鮮へ出張を命ぜられたるが一兩日中に來鮮すべしと云ふ

●浦潮の朝鮮新聞　一時發行を禁止されたる浦汐の排日紙は此の程朝鮮新聞と題し同地在留朝鮮人一千餘名連署し再び發行を許可され度旨其の筋に請願したる由なるが露國官憲は爾後此の新聞が日本に對し治安妨害の記事を掲げざる事と若し掲載する時は發行人の責任を問ふの條件の下に許可さるべしと

●麻浦の監獄工事　麻浦に新設さるべき京城監獄工事は多分八月下旬頃より起工の運に至るべし何れ年度を超へざれば落成せざるも出來得可くんば本年内に地均し工事だけ竣成せしむる豫定なりと云ふ

●酒精輸入の增加　酒精の輸入は四十二年度に於て千八百九十九石四十三年度に於ては九百九十九石なるが本四十四年に至りて一月より五月の僅々五ヶ月間に千三十六石に達し非常の增加を見たるが主として外國よりの輸入に屬し其使用の目的は混成酒の原料にするもの約九割にして其他一割は工業用なりといふ

●各高等官の懇親會　來る十日午後六時より花月樓に於て各部長官各道長官各部局長警務總監部各課長約五十餘名の懇親會を開催する由

●警務部長醫院參觀　各道警務部長は七日午前總督府醫院を參觀藤田院長藝安博士荒井内科部長等の衛生上有益なる說明を聞き同附屬學校をも觀て退出せりと

●紀念林に害虫發生　忠淸南道公州にある恩賜紀念林の樹に小蟲子と稱する害虫發生して被害甚だしく六日の如き約二斗餘を捕へたるも益々蕃殖の模樣なりと云ふ

讀む可し讀む可からず
山水道人

▽朝鮮語に『モゴッソ』と云ふ言葉がある。此『モゴッソ』は即ち日本語の『食ふ』と同意味。

▽處が、朝鮮では『風邪を引いた』と云ふのにカムキ(感氣)モゴッソと言ふ。『金を儲けた』をトン(金)モゴッソ。『利益を得た』がイー(利)モゴッソ。『水に濡れた』がムルモゴッソとこんな風。

▽依是觀之に彼等朝鮮人は。食ふと云ふ事が如何に其趣味性で有り且又如何に食ふ事を以て。日常生活の必須條件とせる食慾的人民。乃至飢餓的人民であるかが分る。

▽されば朝鮮人の食事に際しての飯をサバル一杯と極められて居るのも。是畢竟如斯自制心に乏しき本能的食慾の控制法として。自然的衛生の意味より生れたる一習慣では有るまいか。

▽過度の食慾は胃弱患者なり。胃弱は消化不良にして。消化不良は即ち營養不足を來し。營養不足は即ち驅つて貧血症たらしむ。

▽若夫貧血症患者に向つて活動を強ゆるは。石炭を燃かずして汽罐を動さんとするに似たらずや。

▽更に思ふ。物質に於て飢餓的人民たる朝鮮人は。今や將に社會的中心意識の缺亡に依つて。更に大なる精神的飢餓に墜ちんとす。不知國手の配劑や果して如何。

▽されど。良藥は苦し良醫は高しまゝならぬ世や。

▲京城手形交換高▼

月日	枚數	金高
七月七日	三七六	二九、六〇六、五〇〇

▲治外法權▼

最近の御製に『千萬の民の心もをさまらん誠ひとつをもて敎へなば』聖旨の存するところ維れ深く、維れ尊し、吾人は雍容の間と雖も、聖旨を奉體すべきである▲サア世に何が偉大だと云つても誠の力ほど偉大なものはない、彼の山嶽を移し、鬼神を泣かしむるが如き、此力を以てすれば何でもない、況んや在半島有情の衆生に政治を施すが如き、誠を以てしさへすれば何でもない▲今の總督府の仕て居る仕事の中、最も高貴で最も鮮人の歡迎を受けつゝあるものは地方の慈惠醫院だ、サレばこそ各道長官等は醫院の增設を望んで居る、而るに意外にも總督府の當局者は增設問題に關して冷淡に構へて居る▲曾つて關西の澁澤と云はれたる松本重太郎も數年前の破綻以來世から隱れて居た、而るに昨今整理が附いたソウで、友人の某々等が彼れを招待して慰藉の宴を張つた▲アー松本の破綻、彼れがアンナになつたのも元はと云へば甲羅に似せて穴を堀らなかつたからだ、一時の虛勢に乘じて事を爲さんとせし彼れの失敗は世人にとつて良いミセシメであつた▲併し翻つて考ふれば我京城にも小松本たらんとする者が幾らもある、彼等は自家の甲羅の大きさを知らず、獨り得々とし、一時の虛勢に乘じて事を爲さんとして居る、嗚呼累卵の危さとは眞に此邊の事だ▲民團解體の問題も今度の府尹會議の濟んだ上でキマるとは異乎、サラば聞かん解體後に自治體はドーするのか▲我京城商業會議所議員間に二派の暗流があつて、ソレが會頭の撰擧に就いて表面に現はれたとは怪體な話だ、此んなザマなればこそ會議所其物が其筋からは馬鹿にされ、世人からは輕んせらるゝ樣になるのだ、寄語す、山口中村の兩人此際潔よく公益の犧牲となり相共に會議所其物の爲に盡すべしだ。

●雄基灣鰊大漁　北鮮雄基灣にては昨年來よりの不漁に苦しみつゝありしが六月に入り一週間の間に同灣のみにて小鰊約十萬石(價格一萬圓)の漁獲あり此等小鰊買求めの爲め關島慶源訓戎の各方面より來る人車馬車は海邊に市をなし目下同地の漁業界は活氣を呈し居れりと

●中山地方裁判所長の歸京　東上中なりし中山京城地方裁判所長は八日午後八時十分着の列車にて歸京す



召使れ初

第九十八回 黑法師

母として我子の出生を願はぬものあるまじけれど、昔大名の家庭に於ける本腹お部屋腹の間に起る相續問題の如く悲慘に且つ波瀾多きはあらざらん、進退より推せば、奥方(やがて本腹)所生の和子姫君、正當に家を繼がするが當然なれど、當時の諺に『腹は借り物』と云ふ事あり、女は何人ならんとも、正しく當主の胤ならば、妾腹(やがてお部屋腹)の生みたる子と云へど、尙相續權を有したりき、家々の格式習慣に由りて、お部屋は奥方所生の御子なき塲合に始めて世繼に立たする定めなるもあれど、中には單に長幼の序を目標に置きし、この一大事を決したるも少なからざりき

淺田家にてはこれの定め手薄なりき、公達御出生の塲合は、第一に御本腹、御本腹に公達あらせられぬ時、お部屋腹所生の公達を坐ね參らする定めなれば、此度の相續問題は兩姫君の上に掛りぬ、富貴姫は御本腹なれど一歳の幼

政姫は中臈唐橋の出なれど、御總領なり

唐橋は澤野を唯一の杖柱として、政姫を世に出し參らせんと力めぬ、何れは他家より御養子取らせて、その方家名を繼がするなれば、表立ちて世に出づる身分にてはなけれど、されど御冷飯となるには優れり、御養子取りて家を繼がする方は、假し表立ちて世に出でたまふことなきも、御養家根生の方として人々の尊敬を受けたまはんも、不幸にして冷飯とならする方は、他家へ御緣付きか、或は御出家か、厄介者同樣の身となりて一生を獨身に送りたまふか、何れにしても好き御運はあるまじ

唐橋は斯く願へど、順序としては御本腹を推さゞるべからず、然も富貴姫の背後には、お奥一帶に侮り難き勢力を有する年寄國尾の保護あり、澤野がお道を陷れんとするは其爲めなり、お道を陷れて國尾勢力の牙を殺ぎ、然る後政姫御相續の手續を爲さんとするが、彼の心の計略なり、

『あなた、御手紙の手術も水の泡となつたとのう』

唐橋は澤野の入り來れるを見て斯く問ひぬ、職はお中臈なれど姫君お腹となれば格段の扱ひありて、年寄の筆頭たる澤野も多少は目の下に見るほどなりき

『奥方、御贔負あらせられるで什麽と致し方ござらぬわの、彼のお文の一條では一方ならぬ苦勞もしたが、とう〳〵湊口で舟を覆つたわの』

『あなた、お力でも政姫樣世に出させの時あるまいでござりませうかな』と唐橋は一はいの涙を浮べて『素性もない者の腹に生れさせた御不幸を傷む外ござりませぬ』

『左樣に、お力落しなさせられるには及びませぬ、捨てる神あれば拾ふ神も、ござりまするで、その内にはお心の曇り、晴れる時もあらうと推察、澤野の目の黑い間は、やみ〳〵富貴姫樣お手に五萬六千石を握らせること致しませぬ』

『あなたお一人力と賴ますする、あなたお奥に在せられるで、此身は此まゝ命終るとも厭ひませぬ、政姫樣お行末、あなたお手にお守りあらせられませ、これは平に……』と云ひかけて目を拭ふて『お願ひ申し上げるでござります』

『御安心なされませ、政姫樣は御總領でござります、御總領にお生れのお幸福は、何處まで行つても消ゑる事でござりませぬ』と澤野は慰め顔に云ひつゝ『又邪魔になるは、國尾殿でござりまするわな』

『國尾殿、富貴姫樣に甚うお肩入おやとの』

婦人の夏養生

梅雨明の注意

▲婦人は一般夏季に於て衛生を重せねばなりませぬが、殊に梅雨あがりの五六日から暑さが加つて來る、此季節が最も注意を要する時です、此頃の氣候は一定して居ないから、昨日非常に暑かつたと云ふので、厚い蒲團を擲つて翌日俄かに冷ゑるので、折角藏つた蒲團を復出すのも、面倒だなどゝいつて薄蒲團のまゝで寢たりすると、身體は冷ゑます。此冷ゑると云ふ事は、御婦人の禁物で、婦人病の起る原因となる事が多いから、斯ふ云ふ時には、鎮火保温の効ある中將湯を飲んで腹中から温める事が肝要です

五臟の働き弱くなる

▲斯くて暑さが進んで來ると誰れしも氣分が重々しく、食事もまづく、果物や氷などばかり食べて居たい様な氣になる、而して不知不識、御飯の數を減らして、果物の方を多く食べる、これは夏分は凡て五体の五臟が其活動の力を緩め、冬の様に働きませんので、自然斯かる狀態になるのでありますが、此塲合に於ては調中催食の効を有つて居る處の中將湯を御召しになれば、惡心も止み、食慾も増進し健康は保全されます

足の裏がはてる

▲婦人の殊に冬は足の裏が冷ゑて、夏になつてから燃ゑる様に熱くなるものです之は心臟の惡い人又は身体が弱く出來て居る人杯にもあるが、子宮に故障のある人に殊に多い、つまり之は血液の循環が調はぬ爲めでありますが婦人は男子と違つて骨盤内で澤山の血を藏して居るから、子宮に故障ある時は足の裏などまで思ふ樣に新鮮な血が送られません、それで足の裏に靜脈の返へり來るべき血が停止して彼の樣にほてるのですが、之を放置すれば彼の恐るべき子宮病血の道等に變ずるのですから、順血補心の効ある中將湯を御召しになれば血液の循環は好くなつて、斯の如き容態は自然消滅します

頭痛の多い婦人

▲御婦人は十人寄れば、七八人まで頭痛して困ると仰しやいますが、頭痛の起る原因に色々あるけれども、婦人病の殆ど總てが、頭痛の原因となるといふ事はどの御醫者さんも申します、併し多くの婦人は、頭痛のするのは單に時候の爲めだといつて顳顬に、頭痛膏だの梅干の皮など貼つてあれですぐ治ると思ふ人もある樣ですが、なる程婦人は時候の變りによく頭痛するものであるが、もう少し深く立ち入りて婦人病に罹つて居るのでないかと鑿穿する人が少いのは誠に遺憾である、上述の如く常に頭痛がして困るといふ人は多くの塲合に、婦人病にかゝつて居るのであるから、重態に陷らぬ内に早く中將湯を服用するが肝要である

此誤解を恐る

▲婦人は天性細心です、一寸一枚の寄せ切れを選ぶのでさへ容易に決しません、然るに貴重なる我生命を託すべき藥の撰擇をウカ〳〵と決する方のあるのは何ういふ御考へなのでせうか、近來中將湯の盛況を羨んで幾多如何はしき婦人藥が現はれて來ましたが、今日の婦人藥は正に玉石混淆でありますから撰擇を誤らない様に御注意を願ひたい、然らば何れが最良の婦人藥なるかといふに、勿論中將湯であります、而して世人は兎もすると、賣藥の効果を疑ふ様にも見ゑますが、若しさうとすれば一藥萬能千義の弊でありませうが津村順天堂は決してさうではありません、學理と實際に本き十種餘りの加減藥を作つて居まして、何々の容態には何々の加減藥を用ゐるといふ風にして居ますから、容態さへ詳しく御報知になれば其容態にキッシリあてはまつた加減藥を調合して差上る事にして居ります

婦人病の兆候

▲婦人病の兆候に付ては、一概にいへないけれども、頭痛眩暈から初まり、次で月經に變調を來し、時期が一定せず又其量に多少が出來たりそれから少し熱心に針仕事や洗濯でもすると背が凝つたり腰足が痛んだり、耳が鳴つたり顔がほてつたりする、これが進むと下腹が重々しく係張つたり、又時々球の様な塊が胸先へ差込み、遂には白帶といつて白いねば〳〵した而かも惡い臭ひのする濃の様なものが下りる

この白帶は醫學上の言葉でいへば、アルカリー性で其猛烈なる力は、交接の際男子より來る精蟲を殺すから、斷然子供が出來ないのである、其他器阻は婦人の待前などゝ考へる方がある樣であるが、滋養分を攝る事が出來ない爲めに身體が甚だ衰弱する最後にヒステリーの事をいつて置くが、之は昔の人は血の道といつて血行から來る處の一種の婦人の神經病であるが、頭が重く氣が鬱ぎ、些細の事に氣を痛め、過去の事をいつまでも心配したり取越苦勞とする婦人などは、このヒステリーに罹つて居るのである、これでざつと婦人病の兆候を說明致しましたが、之に對する自宅治療法として最も完全なるものは中將湯です、中將湯の効驗の著しき事は世人は既に御承知の事ですから改めて申しません、中將湯本舖は東京日本橋區通四丁目津村順天堂で取次店は全國到る處にあります、若しなき時は本舖へ御注文下さい、定價は五週間分二圓五十錢、三週間分一圓六十錢、二週間分一圓十錢、一週間分六十錢、四日分卅五錢、二日分廿錢です

代理店 京城 新井藥房

●主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒
毒に用ひて実効速なり
●常に貯へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を解くす

くだり病一切の特効薬
健胃固腸丸

薬價 貳十粒入 五錢 四十五粒入 拾錢 百粒入 貳十錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓

本剤は全國到る所の賣薬店にて取次販賣せり
にせ物ありかりたれば商標と谷回春堂に御注意を

大阪市東區伏見町 堺筋角
本舗 谷回春堂
（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）

代理店 京城南大門通三丁目 新井薬房 電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館前
酒井組 電話一一四九番

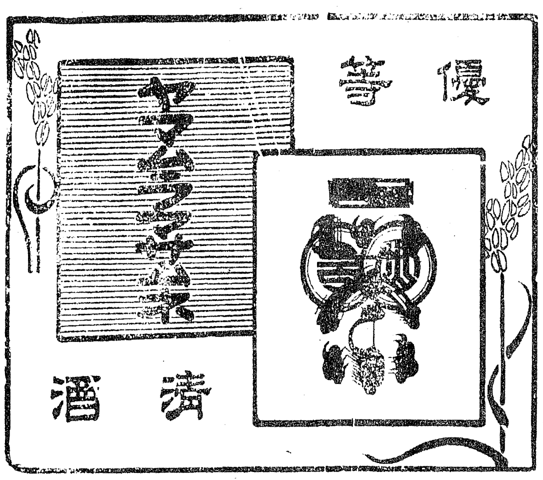
◉貸金 旭町二ノ一五別府 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

いよく蚊軍來襲す
恐るゝ勿弊店には
關戸蚊帳株式會社特製品
最新式縫目なし染分蚊帳全部
其他色々取揃へ防禦の用意は抜目なく整いて居ります
特ニ七月一日ヨリ
運送中の少々のキヅものに限りんさ大見切賣を致外然し数に限りがありますから早いた方様程御得策です
地方よりの御注文は最も迅速に發送致ます
京城明治町一丁目 （電話二六一番）
△唐川呉服店
蚊帳部

世界中苟も音樂に嗜好を有する人士の家庭に於ける唯一の良機一臺の蓄音機を家庭に備ふれば國歌樂隊オーケストラを初めとし薩摩琵琶諸曲琴三味線義太夫長唄其他一切の俗曲流行節等に至る迄名士の妙音美聲の原音を直接聴くの感あり
蓄音機は諸君の欲するが儘に愛賞する音樂を幾回なりとも繰返して奏演せしむる事を得るなり



ヴヰクター會社 日本蓄音器商會 製蓄音機械音譜各種荷着發賣
何品にても不限御便利買次仕候間定價表及音譜目録御一報次第進呈仕候
東京竹内製金庫東京堀井謄寫版卿筒及び消火器特許品文房具類
京城本町一丁目
熊平支店
電話六二四番・振替口座京城貳貳番



優等 清酒

◆
義歯術一般
京城明治町一丁目（森、村質店隣）
榊歯術所
電話は（六六九番）へ

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持参可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
巻紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水歯磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札 引なし

官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雑貨卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●



元造釀
仁川宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番
電信略號フ

最上醤油
登録商標 京 登録商標 商
特約店
京城明治町一丁目 大塚京城支店
京城明治町一丁目 山邑京城支店
京城大和町一丁目 山本醤油店
京城本町四丁目 前田酒店
京城本町二丁目 佐藤牧商店
龍山元町 兼古商店
龍山本町 村井商店
仁川京町 高雄支店
釜山南濱町 大塚出張所
平壌大和町 大塚出張所
安東縣四番通り 大塚出張所
群山全州通り 中柴支店
木浦 守田商店
元山元町 渡邊商店
釀造元 永登浦 大塚醤油釀造所
大塚醤油釀造所日曜廣告

京城本町二丁目百三十銀行横
野田歯科專門醫院
電話一〇四七番

効能ある温泉
浴用効能
りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、らいびよう、ばいどく、せいできもの、ひんびよう、しようかち、しちゆう、ぢのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切
外用効能
きりきず、やけど、しゆやけ、ただれ、わたまがさ、おせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちきづ、かせん、はのいたみ、いんこうかたる
内用効能
ひんけつ、しんぞう、あびよう、ちようかたる、いつう、ひびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいたみ、りうまちす、せきずい、ヒんろう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよい
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一二番）
旅館 浴客 貸席
鐵冷温泉

諸紙諸帳簿
柳行李雨傘
襖紙文具類
名刺壁紙
右精々勉強可仕候間多少に不拘續々御用仰付被下度伏而奉願上候
●追て市内は電話にて御用命被下候へば早速持参可仕候
●地方は御注文次第迅速に御送付申上候
仁川新町三丁目
キ 野田紙店
電話四四四番 電略（ノ）又ハ（ノタ）
振替口座（京城三六二番）

M.C.C.
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
土耳古 紙巻 賣
エムジーシー
京城、平壌龜屋――釜山、木浦、群山高瀬支店

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院
電話一五五六番
金井豊七

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

朝鮮名産
鶴乃箸
○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土産品種々
京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八
製造發賣元 海市商會
京城本町四丁目（電話九五六）
特約發賣元 日之出商行
京城本町六丁目（電話二一〇）
特約發賣元 西崎本店

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番 振替京城五〇二番

最上醤油 最上
特約販賣 仁川高雄支店 京城店

東京 澤庵萬漬物類

特製 寶味噌
御料理向
味噌製造 漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

弦齋流割烹
すず祢
南山町一丁目
電話千五百二番

芙江 公州 間定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着翌六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船内
御客様の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前
中條運送芙江支店

キ 七月中 汽船出帆廣告
三宵丸 屯串行 七月八日前八時
天草丸 海州行 七月十一日前一時
成歡丸 鎭島行 七月十一日前二時
海利丸 海州行 七月九日前九時
成歡丸 汰沽芝行 七月九日前一時
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番七五〇

藝妓健康診斷の議と各方面の意見

藝妓に健康診斷を受けさせると云ふ議が傳はつて以來其の側の恐慌と云つたら凄ましいものだ、無理だ人權蹂躙だなぞと憤慨するもの、身に覺へがあるから受けても宜しいけど軍醫さんぢやア堪らないつて新町の娼妓さんですら檢査と云ふ慄へて御座る、まして初めて出會す妾達は恐いと云ふもの杯樣々である、從つてでげす從つて局外者にして而して深い關係のある客筋の中にも賛否の論がある、此の時に際りて之れを紹介することも豈に無益の業ならんやでしよう

菊家文之助事
岡田鬼千代子

入來しやい伺はないでも御用向は分明つてますよ此頃はチヨイ〳〵人相も觀ますから……ハアハアハア……戯言は措きまして何うでモウ喋舌らせられると極つて居るから袴間に掛らない内に其の意見なるものを白狀すると致しますと衛生警察法に依つて其の筋に於て必要と認められ實行せらるゝとならば**大賛成**ですが夫れも**程度問題**ですが風說さるゝが如き娼妓と統一云々に至りては人權を無視した不法行爲とやらです、一々名を擧げては申しませんが歷々衆の中には藝妓買をなさる斗りか好きなのそれ落籍になつた方もありますから藝妓が一体何う云ふ事を爲るものか位は分明つて居る筈です、エ、分明つてるから其の必要を認めたのだらうつて、馬鹿を仰云いよ健康診斷の趣意が其の字の示す如き普通の診察であれば及ばずながら不服の妓には理解もして受けさせますが娼妓と同一の**檢黴の意味**、夫れならば**絕對に應ずる事は出來**ません併し私は斯う考へますの**は風說に止**まることと斯う**信**じます、何故ならば私が**昨年八月**擲翠から**獨立**することが出來たのは實際**南部署長**さんが**人權を尊重**して下さつた**結果**です、昨年の八月と云へば漸と一ケ年にしか成らぬ、一ケ年前人權を尊重して下さつた當局の方が**一年後**の今日夫れを無視した**蠻行**を**爲**さるべき道理がありませんもの、若し普通の健康診察と云ふのなら其の必要は有りますまい自分の身体を一番大切にするものは自分ですもの氣分が惡ければ醫者にもかゝる藥も服し必要なりとすれば客方の方にも施行するのが至當でしよう、藝妓の病氣は客に傳染るが**客の病氣**は藝妓に**不傳染**と云ふ理屈は無いのですもの、藝妓の内に**私娼**をする者があつたら檢擧して**相當處罰**あるべしです、先月十八日限り廢業を命ぜられましたが彼の市中に散在してかた酌婦が公然お客を取つても制裁の無つたのは檢黴を行はれたからでしよう今藝妓に檢黴を行うと其の結果は同じ事で從つて是迄**枕金**と稱して居る馴染金五十圓とか三十圓とかが十圓若は**五圓**都合に依れば**三圓と下落**して來るかも知れぬ左樣しましたら其の弊害は何うでしよう、二八三八四人と**異る男**に**接**するから衛生警察上**診斷の必要**ありと云へば**浮氣**な寡婦や女中から進んでは一部の**御妾**や**韓妻達**にも施行の必要がありましよう、夫れに藝妓が健康診斷を受けるとなれば歷々の歡迎會へなぞ出るてとが出來無くなり隨分淋しいものでしよう、エ、**樂隊の在る有り**、**幸に意を勞する勿れ**、ですつて、馬鹿を仰云いよ夫れなら何んですか花月や擲翠の二階でブーカブーカのブー、ドンガラガンのガンで氣を付けエの姿勢か何かで『樂手殿ッれ酌を頤いやす、終り』てな事になるんですか、エ**花月や擲翠や白水**の**營業は禁止**して龍山の新築統監部を鐵道局に拂下げてホテルにするから釣合は取れるつて仰云るの、ソリヤ若んな貴方の覺束ない頭腦から割り出された愚論よ、愚論ですとも、元來『藝妓健康診斷の議』各方面の意見なんて人騒がせな根もない事を擔ぎ回る貴方に相當のお考へよ、腹の立つ、エ、結局賛成か不賛成かつて、勝手に成さいよ

爆發の爲め慘死

▽釜山稅關山壁平工事 三重縣四日市川原町服部七郎(二四)は兼て釜山稅關山壁平工事に傭はれ居るものなるが六日朝も早くより同南面中央なる地上より約九尺計りの地點に於て作業し居れる折しも巖石中深く填裝せしダイナマイトが如何なる機會にや突然爆發したれば何かは以て耐まるべき下向き勝に作業中の七郎はドツト其場に打倒れたるが是れが爲めに兩手そぎ取られ盆大の石塊は頰及び口中を破つて後頸に貫き兩眼凹沒し鮮血四散し二目と見られぬ慘狀を極めたるも未だ呼吸の通ひ居るより警官出張して手當を爲し直に民團立病院に擔込みたれど間もなく絕命せり同工事に就ては是迄幾多の死傷を出したれど係る無慘の死傷は稀れなりと

無免許醫檢擧さる

原籍廣島縣安藝郡奧海田二千百二十番地當時仁川○○組合内住濱本哲三郎(四十)は去明治四十二年四月頃より○○組合に於て常に同組合に出入する多數の船夫漁夫等の身体を診斷し投藥を爲すを業となし居たる由なるが元より無智の船夫漁夫等は濱本を全くの良醫と信し其の診療を受け服藥をなし居たるが茲に彼等をして疑を起さしむるの事件起りしなり开は本春或漁夫が濱本の診療にて服藥中遂に死亡したるより家人は直に濱本に至り死亡届に要す可き診療書を貰ふ可く語りしに濱本は言を左右に托し書類を認め呉れざるより止むなく淺井病院に至り診斷書の認めを乞ひしに同院にては檢案書に非ざれは認め難しとて遂に五圓の金を投して檢案書を乞ひ漸く葬儀を濟したる由なるが同人は非常なる貧困者にして右の五圓支出に付ては近隣の者共寄合て寄附を仰ぎたる程の悲慘なる者なりしと云ふ此の時に於て如何に無智の漁夫等と雖も濱本の無免許醫たるを看破するに至りしなり尙濱本の診療を受けし者は漁夫等のみならず本年一月以來七月に至る迄に仁川券番藝妓千太郎事桝本ね、朝日樓の桝菊事稻本ふみ外五十七名に對し診療投藥なし居たるの事實判明し其筋に告發せらるゝに至り目下取調中なるが兎に角貴重なる生命を托すべき醫士にして係る如何はしき物程危險なるはなし

●即決不服の裁判

京城旭町三丁目七十九番戸土木請負業東京府士族藤田菊五郎(四五)に對し南部署が警察犯處罰令違犯並に畜犬取締規則違犯として前後三回に渉り科料即決の申渡しに對し正式裁判を仰ぎたる結果京城區裁判所に於て無罪となりたるが今其顚末を聞くに藤田方の畜犬昨年五月より本年六月二十八日迄に旭町三丁目大越常(八二)同町三田さだ(一二)同町阿部眞太郎(一二)羽衣町長山一(八)同四丁目多田誠郎(一二)羽衣町長山一(一七)の六名にムシヤ〳〵食い付きしのみならず通行人に咬み付かんとする事屢々なるより南部署は獸醫に檢診せしむ可き旨命じたるに應せずとて過料金二圓に即決又其の後繫留若しくは口輪を箝む可き旨命じたるに應せざる爲め金一圓五十錢を更に故なく呼出に出頭せぬとて金一圓五十錢の科料に即決せしを不當の處分として正式裁判を仰ぎたるより宮脇判事田村書記の係り秋場檢事立會の下に區裁判所刑事部法廷に於て六日八日の二日に渉り公判開廷せられしが、被告藤田の申立は最初金二圓の科料は不服にあらざるも去月二十一日に出頭す可き呼出の際は不在にして繫留若しくは口輪を箝むる事は承知して犬を探したるに二十日より二十三日午前八時迄捜し出さず同日午前八時過ぎ歸りたるより警察に通知したるに警官出張、警察に引渡せとの事に付三年間も幼き頃より飼ひたる愛犬なれば食事をと警官に嘆願して、食事を終り直ちに引渡したる次第なれば余り警察が酷なりと申立てしが八日無罪の宣告あるや公明なる判官の處分を感謝し退廷せり

●海水浴場開始

（仁川）既報の如く仁川猫岬に於ける海水浴は愈々工事竣成整備し九日より開場する事となり午後一時より水泳競爭あり同八時には仕掛煙花を發揚し尙當日は入場勝手なりと云へば定めし盛況を呈するなるべく但し雨天は順延なり

●本願寺墮地獄

南部大山林洞林其嗣(十八)は窃盜前科付にて放免後一定の住所職業なく諸所を徘徊中去月二十七日午後三時頃南山町本願寺に設置せる賽錢箱の錠を破毀し在中金五錢五厘を窃取し南部署へ檢擧され懲役二年に處せらる

●勘定代りに亂暴

七日夜十一時二十分頃仁川京町二丁目料理店光月に登樓したる住所不定無職南彌助(三二)は友人二名と共に飲酒し二名は中途にして歸らしめたる後ち酒肴代一圓四十錢を請求せられしが無一文の代りに同家の女將や女中に亂暴を働き襖障子等を打毀したる騒ぎを警官聞付け出張直ちに本署に引致し目下取調中なるが同人は常に素行修らず從來其の筋の手を煩したる事屢々なりと云ふ

●窃盜嫌疑者の無罪

福井縣今立郡服部村字波垣三十番戸當時住所不定市橋嘉吉(三〇)が六月十二日大和町二丁目車夫笹山千代吉方にて縮緬兵兒帶を窃取現場を認められ贓品は被害者に返還したりとて南部署に檢擧され檢事局に送られしが京城區裁判所に於て宮脇判事の係りにて審理の末無罪

●一寸來いが十日

原籍山口縣都濃郡德山町字西町千七百四十三番地當時住所不定藤井禎吉(二六)が七日午後四時頃仁川宮町一丁目道路を徘徊し居たる擧動の不審なるを仁川署刑事が認め直ちに本署に引致し取調べの結果浮浪罪として拘留十日に處せらる

日曜集會

●日本基督教會(旭町四丁目) 九日午前九時より日曜學校同十時より植村正久氏の禮拜說教「基督最後の晩餐」午後八時より同氏の傳道說教「耶蘇のため檢證三件」ありと

●京城基督教會(相生町) 九日午前十時より渡瀬牧師の禮拜說教「基督の使命」あり午後八時よりは米澤牧師の傳道說教「安心の道」ありと

●不二會例會 若草町一丁目曹洞宗兩大本山別院内同會にては今日曜午前九時より田中道圓老師の無門關並に般若心經等の提唱あり來聽隨意

●微笑會 九日日曜午後四時初音町二丁目臨濟寺に於て圓山太嶺禪師の無盡燈論例會提唱あり參聽隨意

●演藝だより

●歌舞伎座 當地劇界の惡十八番初日との變更もあつて罪を道具新調に嫁し愈々と云ふ字を冠したる初日は九日となる切へ喜劇「洋行戻」を附け出したり次に十日の代り狂言には木村猛夫十八番の出し物「女漁師」全十場と決定したる由なれば相變らずのお引立を願ふ

●壽座 玉武館開館式餘興公開演技にして八九の兩日正午後七時より木戸場代下足共に入場料御一人樣只の二十錢

●浪花館 九日夜の藝題は左の如し 小倉船(枝輔)お元「貴洛衣汗鳴雷」又の名夕立(枝〆吉)うなぎや(枝三郎)改良せんざい(圓三)無精床(芝鶴)僧月照(駒彌)滑稽二人くせ(福圓)新作女巡査(柳丈)音曲(ジヨンペール)

平民文庫

▲愈々雨期に入つたのかジメ〳〵と厭はしい事だ蠅は殖ゆる黴は生へる放心すると凝冷をする傳染病の心配はある何うにか成らんものかナ同じ京城の内でサ(雨嫌生)▲福岡縣八吉浦濟君僕は君に面會の必要あり住所直ちに知らせ玉へ(北米倉町●●●●●●●愛知館止宿今村啓之助)▲東大門より金谷に至る途中の橋に日本人の柵を積んでワツタカツタを改築策を講じては如何僕等は毎日の樣に爲て居るに危險で堪らない公衆の爲めだ何とか致て貰ひたい(李書房)▲判任官の腕章が金線になつたので大層に立派になつた結構だ全体今迄が間違つて居たのだ帽子の線は金色で腕が銀色だなんて、統一されたので大變能くなつた斯うなくてはならんアー結構だ夫れにしても包裝が立派になつた丈け夫れ丈け内實のお粗末なのが遺憾です(一平●人漢)▲何處が粗末だと云ふのか豈夫全体が粗末だと云ふのではあるまい其の點を指摘し玉ゑ(小僧)▲同じく新町遊廓内に居ても奮がらある方の樓の妓の方が上等な樣な氣がする東京で云ふと大店の格でな(廓通)▲金が出來ると太平樂を歌ひ金が亡くなると滄浪の歌を唱するもの丶徒が共產主義などを唱へるのですが又金が出來ると貴族的に澄し込む之れを命けて方圓の器に隨ふ水野郎と云ふ(金遣郎)▲明治町二丁目から明治町一丁目へ引き轉した印判師さんの妻君はメツキリ老けになつた樣だ(通行人)▲詰らない事を心配するぢやないか……ナニ詰らなくない……どあれば餘儀も無いが要するに君の頭は白かんべいな(小僧)▲大和町のきよすが廢めたので甚だ不便を感ずるもの豈に夫れ我一人のみならんやだらう(遊蕩兒)▲山口太兵衛君と中村再造君が党を樹てゝ商業會議所會頭の地位を爭ふた相だが一体御兩人とも會頭としての資格があるかい考へて試ろ(一商人)▲考へても知れないな何うする(小僧)▲京城には一寸一盃、一寸一膳と云ふに手輕な所はあるが一寸の手輕な家がない高々五十錢止の程度で飯の食へる所が二軒や三軒は欲しいです但し早朝からです(行商人)▲又今年も損を爲ますか何故私は運が惡いでしよう何時迄經つても一つ事で(氷行商人)▲零したものではありません私を御覽なさい私は何年經つても小僧ですがチツとも不服なく勤めて居ます此れ聽て向上の大捷徑と信じてです恐痴るのも可ですが勇氣を挫いては駄目ですよ(小僧)

昨日故中大路正雄告別祭相營候節ハ態々御參會被下御厚情奉感佩候乍略儀以紙上御禮申上候也
七月九日
親戚總代 田中遜
友人總代 櫻井小一